

(1)生徒の体力の現状

○男子では、1・2年生のシャトルランが県平均・全国平均を上回っている。2・3年生の立ち幅跳びは県平均・全国平均を上回っている。2年生の握力も県平均・全国平均を上回っている。
○女子では、1・2年生の反復横跳びで県平均・全国平均を上回っている。2年生の長座体前屈、握力でも県平均・全国平均を上回っている。
○立ち幅跳びでは1年生男子を除く、全学年男女ともに県平均・全国平均を上回っている。

●上記に挙げたもの以外の項目はほぼ、県平均・全国平均を下回っている。

●ハンドボール投げ、上体起こしは全学年県平均・全国平均を下回っている。

●2年生男子の上体起こし・50m走、3年生男子の上体起こし・長座体前屈・反復横跳び、3年生女子の上体起こし・反復横跳び・シャトルランで全国平均を大きく下回っている。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

○授業ははじめのランニング、腕立て伏せ、馬跳びを継続して実施できた。

○長距離走の单元では、学年上位を発表したり、ペース走をおこなったりして記録の向上だけではなく、いかに気持ちよく走れるかを考える場面などを設定し、長距離が嫌いな生徒も走る意欲を高めることができた。

●授業ははじめのランニングや体力づくりのためのトレーニングは継続できたが、マンネリ化してしまうところがあり情性的になった部分もあった。

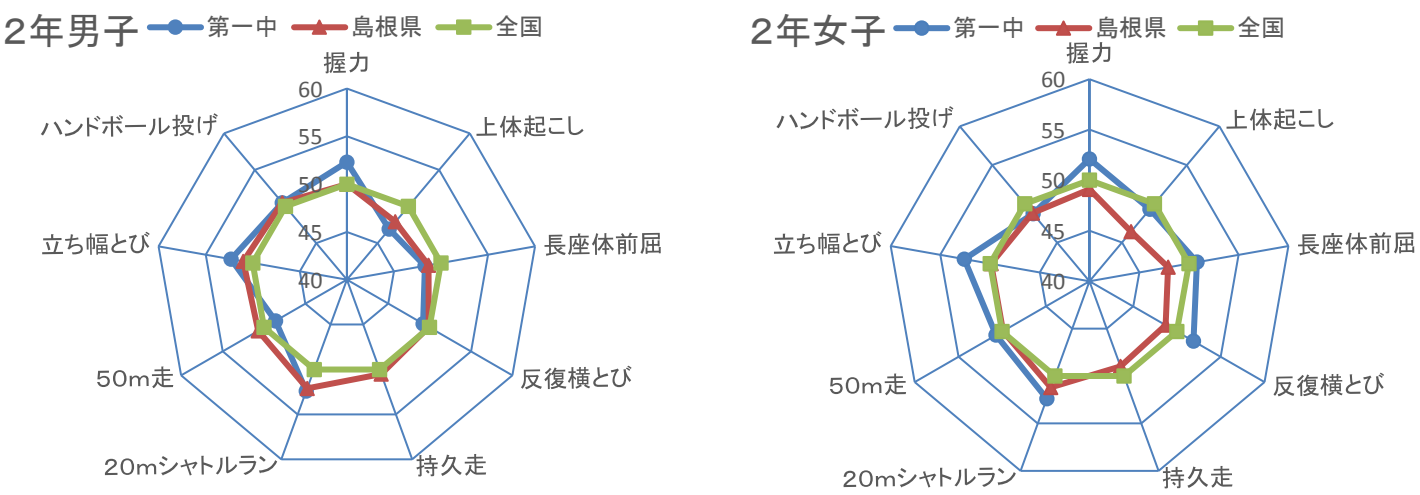
●雨天時など、場所・人数などの問題もあり、必要な運動量の確保ができない授業もあり、今後の課題である。

(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・長距離走では引き続き、ペース走などを取り入れ、呼吸法やフォームにもフォーカスし、グループで考えるなどの場面を設定することで、生徒の積極的な授業参加を促したい。
 - ・授業ははじめのトレーニングには、本校の弱かった投力、筋持久力を高めることのできるような動きを取り入れるようにする。
 - ・体力診断テストの項目を全学年二つ以上全国平均を上回るようにする。
 - ・授業の中で、めあての提示、振り返りをできるだけ毎時間行うようにする。
 - ・グループ学習、ペア学習の充実。
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・学校便りや学年便りによる状況報告。
 - ・PTA保体部による研修(体幹づくり、食育など)との連携。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・給食時の放送での啓発。
 - ・保健の授業内容の充実。
 - ・学級や学年集会等での啓発。

調査実施者数(人) 1年(男子121・女子142) 2年(男子131・女子142) 3年(男子124・女子135)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

